

みんなの 町議会

第29号

平成24年1月15日

広島県
じんせきこうげんちょう
神石高原町

タイガーマスクがやってきた！
油木保育所は大歓声！



(平成23年12月20日)

■「議会改革推進特別委員会」を設置	2
■神石小学校建設設計費計上(補正予算)	5
■おめでとう準優勝「ミツバチ姫チーム」	7
■予防ワクチン無料接種の継続を(一般質問)	8
■「ドッグラン仙養」(ありゃあどうなった)	14

特別委員会

設置

12月定例会

12月定例会は、12月9日から、16日まで開かれました。
今回の定例会（第4回）では、平成23年度一般会計ほか各特別会計補正予算（12月補正）、神石高原町税条例等の一部を改正する条例の制定・神石高原町教育委員の任命同意など14議案を原案のとおり可決、神

石高原町議会改革推進特別委員会の設置に関する決議、国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書の2件を採択しました。
一般質問では、11人の議員が、当面する行政課題をただしました。

議会改革推進特別委員会 の設置決議案を可決

議会改革推進特別委員会設置の決議案が提出され、賛成多数で可決しました。

ための議会改革をさらに推進すべきであります。

議員間自由討議の推進、住民参加型議会、積極的な情報公開、議会報告会の開催、CATVを利用した議会情報公開、議会基本条例制定、議員定数や報酬の適正化など検討が必要です。

地方分権時代を迎え、地方議会の果たすべき役割はより大きくなりました。本町発足以来、町長と議会は三元代表制の機能を十分發揮しまちづくりに積極的に取り組んできました。

本議会では、より議論を深めるための一問一答方式や全議員による政策提言、CATVによる議会中継、より身近な議会広報誌発行など、積極的な取り組みと努力で議会改革はすでに進行中です。

しかし、住民の負託に、より応えるためには議員自らによる議会活性化の

議会機能の充実、議会の活性化の方策などを調査・検討・実践することを目的に、神石高原町議会改革推進特別委員会を設置しました。
委員の定数は、14人です。

委員長 寄定 秀幸
副委員長 小川 清治



「議会改革推進」

議会政策提言

平成22年度に引き続き、「町民の皆さんからのご意見」や日常の議会活動で得た事項について取りまとめ、政策提言を行いました。

- ① 無医地区からの通院者に対する利便性の向上
 - ◇ふれあい号の内容の充実
 - ◇幹線での乗り換えでなく、直接病院までの通院対応
 - ◇家までの送り迎えの実現
 - ◇通院費の無料化(75歳以上、障害者)
- ② 町立病院の医師・看護師確保のための基金制度を創設
 - ◇医師・看護師資格養成費用の奨学金と入学支度金
 - ◇新規採用時支度金、60歳退職者の再雇用
 - ◇基金を利用して人材育成経費の充実を図る
- ③ 農業法人(担い手)育成制度
 - ◇農業法人、担い手法人の組織化促進
 - ◇農業公社を「営農支援センター」に再編
- ④ 産直市場の改革
 - ◇3店舗の経営統合
 - ◇出荷者組合の統合、横の連携の強化
 - ◇ポイントカードの導入・まるごと市場のあり方の検討
 - ◇さんわ182ステーションの改修整備



新年のごあいさつ

謹んで初春のお祝辞を申し上げます。
町民の皆様には、初春をお健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。
今年には神石高原町が誕生して八年の節目を迎えます。
神石高原町議会といたしましても『人と自然が輝く高原のまちづくり』を目指して、今後さらに創意工夫を重ねて参りたいと決意を新たにしております。
どうか本年も相変わらぬ御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

神石高原町議会議長

岡崎 奠



12月補正予算質疑

学校教育課

神石小学校校舎の 建て替えは

小林議員 耐震診断調査結果を基に、24年度緊急建設のため、2600万円の事業調査・基本設計・実施設計経費の予算化である。

校舎の規模などは。

川上課長 現建物を基準に、設計提案を求めている。1600㎡・4億5000万円以内、25人の6学級で耐用年数30年を思っている。

小林議員 児童数の将来推計に見合った構造・規模が望ましいのでは。
川上課長 コンパクトで、最少経費を考えている。

産業課

地籍調査を速やかに

橋本議員 地籍調査完了するまで、かなりの年数がかかると言っている。地域では、高齢化が進み、境界確認に困難がある。

事前に調査をしている地域を優先的に、地籍調査を実施することは、できないか。

守多課長 調査箇所については、事前に計画書を作成し、計画に沿って事業を遂行している。地域で事前に調査される場合、境界杭などを支給したい。

横尾議員 地籍調査事業が1510万円減額補正になっているのはなぜか。また事業の進捗状況は。

環境衛生課

安田地区への給水は

橋本議員 安田地区簡易水道水源による給水

守多課長 減額補正の理由は入札による減額。また事業は計画どおり完了している。

- 運搬現状は。
- ① 取水箇所はどこか。
 - ② 1回の給水運搬量は。
 - ③ 1日の合計給水量は。
- 横山課長**
- ① 豊松の山村広場から運搬。
 - ② 1回当たり2トン運搬している。
 - ③ 日によって異なるが、6トンから10トンである。



神石小学校新校舎の完成予想図

第2回神石高原町の医療を考える集いを開催

神石高原町立病院は、平成21年4月、県から移管をされ、指定管理方式により運営を行なっている「わが町の病院」です。しかし地域住民の心のよりどころであり、地域医療の核でありながら、全国的な課題でもある「医師不足」、「医療従事者不足」などの問題に直面しています。

このようななかで、町立病院存続のため、町民ひとり一人ができることを実践し、医師や医療関係者が働きやすい環境を創り上げていくことが大切です。

広島県地域保健医療推進機構の医監、古川正愛先生による基調講演と町立病院の医師・看護師による現状報告のうち、質疑応答の時間を予定しています。多くの皆さまのご参加をお願いいたします。

平成24年

3月4日(日)

PM 2:00 ~ PM 4:30

日時

場所

三和公民館

〒720-1522 神石高原町小島 2025 番地

主催

神石高原町議会
神石高原町
社会医療法人社団陽正会

後援

町立病院を守る会

減債基金に1億円を積み立て 「神石小学校建設設計費」を予算計上

○一般会計

歳入歳出補正予算額 7147万円
補正後予算額 109億6186万円

単位：万円（四捨五入）

費目	補正額	補正後予算額	主な内容
議会費	49	1億196	議会費49
総務費	345	17億9608	一般管理費△671、町施設省エネ170
民生費	2272	17億1486	敬老会△71、障害者介護給付・訓練給付1743 福祉医療経費170、社会福祉総務経費273
衛生費	90	10億1652	エコタウン等普及△70、やすらぎ苑200
農水費	△4698	9億1764	地籍調査△1510、林業再構築プロジェクト△5279、育成林整備事業1465
商工費	40	9224	自然公園等管理経費30
土木費	△5782	5億114	長寿命化修繕計画△317社会資本整備交付金△5886
消防費	△83	4億4211	消防設備整備△100、トランシーバー購入16
教育費	2815	6億1167	学校教育諸費59、神石小学校建設事業費2590
災害復旧費	2099	3億9266	農地37ヶ所・農業用施設38ヶ所災害復旧費2099
諸支出金	10000	11億1477	減債基金積立経費10000
合計	7147	109億6186	

12月補正予算
一般会計では7147万円増額補正され、総額で109億6186万円となりました。
一般会計補正予算の主なものは、神石小学校新校舎建設設計費など2590万円と減債基金積立1億円です。特別会計を含む全会計の総額は、155億2156万円となりました。

◎補正予算の財源は
社会資本整備総合交付金4469万円、地籍調査事業負担金1133万円、林業再構築プロジェクト事業補助金5279万円を減額補正し、介護給付・訓練等給付費国庫負担金791万円、同県負担金396万円、育成林整備事業費補助金920万円、災害復旧事業費補助金1059万円、基金繰入金970万円、繰越金1億1344万円、町債1600万円を追加補正しました。

平成23年度(12月)特別会計・病院事業会計補正予算

単位：万円（四捨五入）

会計名	12月補正	合計	
一般会計	7147	109億6186	
特別会計	国民健康保険	613	12億1490
	後期高齢者医療		3億9452
	介護保険	△194	18億6082
	簡易水道事業	210	4億9974
	飲料水供給施設事業	135	3905
	農業集落排水事業	413	2億5017
	分収育林事業		250
	総合開発事業		1億2000
特別会計計	1177	43億8170	
病院事業会計		1億7800	
合計	8324	155億2156	

こんなことが決まりました

人事

全会一致

神石高原町教育委員会委員の任命同意

藤原和則さん

任期：平成23年12月23日から4年間

条例改正

全会一致

神石高原町税条例

- ・脱税対策として、不申告に対する過料、現行3万円を10万円に引き上げ。
- ・寄付金の税額控除適用下限額を現行5千円から2千円に引き下げ。
- ・肉用牛免税対象牛の売却頭数を上限、現行2,000頭から1,500頭に引き下げ、適用期限を平成27年度まで延長。

工事請負契約の締結

全会一致

工事名 小島地区簡易水道第3工区工事 工事場所 神石高原町小島地区

請負者 神石高原町井関2724番地2
株式会社武田組 三和支店 支店長菅本孝治

請負金額 変更前 47,460,000円
変更後 57,605,100円

工期 自 平成23年7月14日
至 平成24年2月29日

変更内容 舗装工1,600㎡・大型ブレーカー掘削・セメント路盤工の増

工事名 小島地区簡易水道第4工区工事 工事場所 神石高原町小島地区

請負者 神石高原町小島2258番地
児玉建設株式会社 代表取締役 児玉信二

請負金額 変更前 43,890,000円
変更後 51,765,000円

工期 自 平成23年7月13日
至 平成24年2月29日

変更内容 舗装工400㎡・送水管80m・浄水場内送水管布設の増

工事名 神石高原町情報通信基盤整備事業
屋外放送用拡声装置設置工事

工事場所 神石高原町一円

工事内容 油木地区10箇所 神石地区10箇所
豊松地区5箇所 三和地区9箇所
トランペットスピーカー・拡声器・接続箱を
設置

請負者 広島市中区基町6番77号

西日本電信電話株式会社 広島支店

支店長 黒田吉広

請負金額 72,586,500円

工期 自 平成23年12月17日
至 平成24年3月23日

工事請負契約の変更

全会一致

工事名 町道仁後線道路改良工事 工事場所 神石高原町古川 地内

請負者 神石高原町草木3744番地11
(株)後藤組 代表取締役 志垣謙二

請負金額 変更前 61,582,500円
変更後 75,681,900円

工期 自 平成23年6月16日
至 平成24年1月31日

変更前 至 平成24年1月31日
変更後 至 平成24年3月30日

変更内容 流末処理のため20mの施工増

財産取得の変更

全会一致

所在 神石高原町
有木地区・小島地区・木津和地区

種別 普通4輪小型ポンプ積載車

細目 ダブルキャビン4輪駆動車 3台

取得金額 変更前 22,596,000円
変更後 24,771,600円

相手方 神石郡神石高原町近田1382番地10
(有)神石ミニカ商会 代表取締役 堀 達也

変更内容 ポンプ積降ろしのための電動リフト取り付け

議 員 発 議

12:1

「議会改革推進特別委員会」 設置に関する決議

提出者〓寄定秀幸
賛成者〓丸山達夫・小川清治・橋本輝久・横尾正文

地方分権・地域主権時代を迎え、地方議会の果たす役割は大きく、住民自らの意志と責任で地域のことを決定することが新しい地方自治の姿である。より開かれた議会、議会運営の効率化などの推進により、町民の負託に応えられ、町民に信頼される議会となるため、議会機能の充実と議会の活性化の方策を調査・検討・実践するため、「議会改革推進特別委員会」を設置する。

国へ 意見書を提出しました

提出者〓寄定秀幸 賛成者〓橋本輝久

全会一致 国民生活の安心と向上を図る 各種基金事業の継続を求める意見書

- 1, 子宮頸ガン等ワクチン接種緊急促進臨時特例基金継続
- 2, 安心子ども基金、及び妊婦健康診査支援基金の継続
- 3, 介護職員処遇改善等臨時特例基金の積み増し措置
- 4, 障害者自立支援対策臨時特例基金の継続
- 5, 地域自殺者対策緊急強化基金の継続

おめでとう！準優勝

全国高校生対抗 ごはんDE笑顔プロジェクト選手権決勝大会



準優勝の「ミツバチ姫チーム」横山さん・河上さん・大石さん

宮城県小牛田農林高等学校において、全国から地区予選を勝ち抜いた10チームと特別枠1チームの計11チームで発表を競い合い、東北の地に笑顔と勇気を届ける感動的な大会となりました。油木高校産業ビジネス科ミツバチ姫チームは、中四国大会を見事優勝し決勝大会に挑みました。ミツバチによる耕作放棄地解消と町の活性化・再生を実現し、花咲く笑顔の神石高原町を目指す取組を発表しました。昨年は惜しくも入賞を逃しましたが、この1年間での成長には目を見張るものがあり、実に堂々と立派なプレゼンテーションでした。次は優勝だ！ 頑張れ油木高校！

テレビ放送のお知らせ

立ち上がれ！高校生の“食プロジェクト”～地域の笑顔をめざして～
＜放送予定日＞NHK総合で全国放送されます。是非見てください。
*平成24年1月29日（日）午後3:30～4:43（73分）

あなたの声を町政に

一般質問時間は、一人30分
一問一答方式で行いました

問 ワクチン接種無料化の継続を

寄定秀幸議員



答 来年度も継続したい

Q 住民の安心生活のため、健康と生命を守る最も重要な施策である、「子宮頸がん予防ワクチン」・「ヒブワクチン」・「小児用肺炎球菌ワクチン」接種の無料化を継続すべきでは。

A 町長

牧野町政の目玉として福祉・医療を重点的に補助してきた。来年度も継続したい。国の制度は終わるが、少子高齢化が

進む中、少子化対策の環境であると思っている。

Q 高齢者用肺炎球菌ワクチンの無料接種も継続すべきでは。

A 保健課長

高齢者に対する有益な事業として、町長の政策判断で今年度から実施している。次年度も引き続き継続したい。

Q 土砂災害から住民の生命財産を守るため、土砂災害ハザードマップ

を作成をすべきでは。

A 町長

土砂災害ハザードマップ作成に対しては同感である。「地域防災計画」の見直しも必要である。

Q 女性の視点を防災に生かすことが必要である。防災会議メンバーに女性を登用すべきだ。

A 副町長

是非検討したい。投票所数削減が検討されているが、投票

所数削減による投票率低下が懸念される。どう対応するのか。

A 選挙書記長

経費削減と職員数に無理がある事と併せ、高齢化などで投票立会人の選任が困難なため削減を検討している。

投票率低下とならないよう、期日前投票の充実・推進などに努める。

Q 宣誓書を事前に記入できるように、入場券

の裏に印刷すべきでは。

A 選挙書記長

宣誓書を事前に記入できるように検討する。

Q 公明選挙の啓発にどう取り組むのか。

A 選挙書記長

「3ない運動」の周知など、公職選挙法に基づく政治家の寄付行為禁止事例の周知などに取り組み、公明・正大な明るい選挙を推進する。

問 神石牛ブランドで全国制覇を

木野山孝志議員



答 長い期間が必要だが意欲を持って取り組む

Q 県は神石牛と比婆牛の系統間交配を行い良質な肉質を持つ「広島牛」として、全国展開している。今は地方の時代と言われ、まちづくりは地方の力量にかかっている。以前は、広島牛と言えは神石牛のことだった。再び「神石牛」ブランドを確立し全国制覇を目指したらどうか。

A 町長

神石牛のブランドを

作ろうと思ったら肥育農家を育成強化し、生産牛の素牛を出来るだけ神石郡内で飼育する事により、純粋な神石牛となれば、松阪牛に劣らないようになると思う。それには長い期間が必要だ。

Q 広島牛の中に埋もれてしまった神石牛の種の確立は出来るのか。現状と今後の方向性は。

A 町長

今は肥育を行って初

めて神石牛の基礎が出来てくる。基本的には町内で肥育農家の強化を行い、量が確保できれば可能だ。

A 産業課長

和牛再生プロジェクトでハード面の整備と併せ法人「和牛の里」などで飼養頭数が200頭、新規就農者の就農など成果が上がった。今後はそれを踏まえ、優良な子牛を生産し優良な成牛に育てることを目標にしたい。



神石郡畜産共進会

目標頭数は平成27年度で2千頭である。

Q 地域内での一貫体制モデル確立のため次年度からの取組は。

A 町長

生産牛の拡大と一環システム強化肥育の2本立てで行う。

ゼロからスタートの気持ちで意欲を持って取り組みたい。

問 ミツバチの里夢プランの実現は

藤田晃己議員



答 新産業として取り組みたい

Q 農地を守り荒廃地に歯止めをかける方策として、油木高校の産業ビジネス科の生徒たちがレンゲ・ソバなどを栽培しミツバチの里として観光客を呼び込み地域の活性化とハチミツの販売による実益を提案しているがこの実用化は。

A 町長 高等学校の教育の中からの提案である。神石高原町の活性化・農業の再生・新産業としての取り組みをしてみたいと思

Q 色々とハードルはあると思うが順次解消していけば可能だと思ってい

A 町長 西日本にはナマズの食習慣がない。商品化しても、販売が出来ないと問題があるので、関東へ行って調査してみたい。

Q 荒廃地を池にし、ナマズを養殖する高校生の提案は。

A 町長 西日本にはナマズの食習慣がない。商品化しても、販売が出来ないと問題があるので、関東へ行って調査してみたい。

Q 農業法人の育成の今後の取り組みは。

Q 県内で211法人、町内で13法人あるが、法人を作ればすべてよしという訳ではない。深刻な課題も沢山ある。しかし農家の人にもやる気を起こさせるのも大切である。集落の維持は法人が一つの要素になるが、T P Pに加入すれば再考しなければならない。

A 町長 単町として取り組む

Q 農地の貸し手に対する助成は。

A 町長

Q 要素があるので考えていきたい。

A 町長 せつかくの提案なので私とすれば一考に値する点であり調査研究してみたい。

Q 神石高原町版、担い手法人の育成は。

A 町長

Q 新規就農者の育成支援は。

A 町長 新規就農や定住につながるように、研修なり営農指導を徹底させたい。農業公社を営農支援セン

ターに改編し総合的に考えていきたい。

問 農業の基本戦略は

村上克朗議員



答 赤と黒を核に組み合わせ

Q 農業再生の戦略的予算への重点措置は、「夢創造委員会」でも提言している。

A 町長 答申を総合的対策として尊重し、「赤と黒」の育成強化②生産力の高い担い手育成強化③農地有効活用を図っており、適切な町独自の助成を行っている。

Q 集落営農法人は農地保全に努め、地域維持に必要な組織である。組織化に欠かせないリーダーを育成するため、養成講座の予算化は。

A 町長 新規就農者が定住できるよう、リーダー育成の農業研修や営農指導が徹底できる機関の設置を考えている。

Q 若者の雇用促進・農産物の地域ブランド化に向け、農・商・工連携や専門的講師の指導な

Q どの、長期目標の実施を。

A 町長 県の未来創造支援事業で6次産業など、優先順位を決めており、全部やる程の財政状況でなく、弾力的に次年度で考えて行くが、他の町より農業補助金は付けてある。

Q 地域再生戦略会議による施策支援は。

A 副町長 地域再生戦略会議の提案による、交流センターの改築、産品販売、182ステーションの構造

改革、ドッグランなどの提言があった。農業問題や商工連携について新年度に議論する。



夢創造委員会

問 将来的財政運営は

小林 貢議員



答 先を読み余力ある運営を

Q 本町公債費負担適正化計画が10月に改定された。23年度9月補正後の財政推計では、実質公債費比率が18%に改善され、27年度には9.2%、10年後の32年には5.6%となっている。国は一兆円に近い借金を抱え、東日本大震災及び原発事故処理など未曾有の財政対処に迫られており、地方自治体に及ぼす影響は今後十数年に及ぶとも云われている。今迄のようによくはい

A 町長 自主財源は22年度決算では10億円程度で、使用料手数料合わせても2割を切り、財源確保は極めて厳しい。27年度以降には合併算定替えにより、制度上、5年間で39億円が減額され、毎年10億円近いものが減額となる。今、財政が改善されていても、その先は極めて厳しいものになる。ぎりの運営では破たんも

Q 最近では90億円を指すと云いながら、100億円前後の当初予算となっている。23年度74億円、10年後の32年53億円の標準財政規模が示されているが、余力保持のため、そのベースを指すなど、予算規模の縮減構想があるのか。

A 町長 現規模は対比20億程度膨張している。本来

は歳入に見合った歳出が原則で、標準財政規模を順守までは行かないまでも、破綻を招かないためにも、十分参考にする必要がある。



神石踊娘隊

問 持続可能なわが町の指針は

瀬尾征爾議員



答 3つの過剰の解消が必要

Q 町村合併の「負の遺産」といえる「借金」「職員」「不稼働財産」のいわゆる3つの過剰を背負った中で、この解消をキーワードとして取り組まれ、7年間にわたって大きな成果をあげられた。ちなみに財政健全化では、借金が17年度には253億円が22年度では144億円に、反面、貯金は17年度28億円が22年度では45億円と借金は43%減り、貯金は58%増えている。また、職員は17年

A 町長 就任時から「持続可能な行政」を大きな柱として226人が22年度187人で39人の減、主要財政指標も大幅に改善した。21年度2期目の施政方針では「集大成の期」として果敢に取り組まれ、2期目も最終年度を迎えることになった。この7年間の取組の成果と課題を踏まえ、新年度当初予算では持続可能な「神石高原町」の方針を示されたい。

して立ち上げた。「3つの過剰の解消」それが持続可能な行政に繋がるといふ大きな考えで取り組んだが、これからも不可欠と思う。今後の財政状況は、地方交付税の算定替えが平成27年度から始まり、その辺から大変な財政運営になると思う。予算規模は標準財政規模にあった予算が適正で、24年度当初予算では当面、歳入に見合った歳出で健全財政を目指す。



真庭市新庁舎

歳出の課題は多く、全て予算化は至難の業である。一般的には農林業や商工業の振興が重要であるが、「定住」対策が第一の柱と思っている。その前提として雇用の拡大が必要であるが、公共事業も減少し、企業誘致も状況的に厳しい。いずれにしても、住民の皆さんがこの町に住んでよかったと満足度の高い施策を遂行したい。

問 支所のあり方は

松本彰夫議員



答 おおむね決めているが検討中

Q 高齢化が進み、丁寧に対応すれば時間もかかる。最低でも現在

A 町長 現在8名体制で行っている。支所は旧役場であり、町民の愛着も強く頼りにされている。来年度の方針は、おおむね決めているが検討中である。

Q 年度当初に支所のあり方を検討すると言われたが、支所の現状をどのように把握し、検討されたのか。

A 町長 現在8名体制で行っている。支所は旧役場であり、町民の愛着も強く頼りにされている。来年度の方針は、おおむね決めているが検討中である。

Q 体制は維持すべきである。支所と本庁との連携をスムーズに行い、本庁での窓口業務を充実するため、本庁に総合窓口を設置してはどうか。

A 町長 今後の対応とすれば必要と思う。

Q 町立病院の将来的な方針はいつ示すのか。

A 町長 指定管理者と定期的な幹事会を行い、トップ

Q 正式な検証はしていないが、医師不足だから、何らかの縮小を考えざるを得ないかも知れない。

A 町長 正式な検証はしていないが、医師不足だから、何らかの縮小を考えざるを得ないかも知れない。

Q 何かといえば医師不足を理由にされるが、この打開策が見えないと、町民からも不満が出る。今後のビジョンを示すべきだ。

A 副町長 指定管理者も、町もスタッフの確保に努力している。

Q 高年齢が進み、丁寧に対応すれば時間もかかる。最低でも現在

A 町長 現在8名体制で行っている。支所は旧役場であり、町民の愛着も強く頼りにされている。来年度の方針は、おおむね決めているが検討中である。

Q 年度当初に支所のあり方を検討すると言われたが、支所の現状をどのように把握し、検討されたのか。

A 町長 現在8名体制で行っている。支所は旧役場であり、町民の愛着も強く頼りにされている。来年度の方針は、おおむね決めているが検討中である。

Q 体制は維持すべきである。支所と本庁との連携をスムーズに行い、本庁での窓口業務を充実するため、本庁に総合窓口を設置してはどうか。

A 町長 今後の対応とすれば必要と思う。

Q 町立病院の将来的な方針はいつ示すのか。

A 町長 指定管理者と定期的な幹事会を行い、トップ

Q 正式な検証はしていないが、医師不足だから、何らかの縮小を考えざるを得ないかも知れない。

A 町長 正式な検証はしていないが、医師不足だから、何らかの縮小を考えざるを得ないかも知れない。

Q 何かといえば医師不足を理由にされるが、この打開策が見えないと、町民からも不満が出る。今後のビジョンを示すべきだ。

A 副町長 指定管理者も、町もスタッフの確保に努力している。

Q 高年齢が進み、丁寧に対応すれば時間もかかる。最低でも現在

A 町長 現在8名体制で行っている。支所は旧役場であり、町民の愛着も強く頼りにされている。来年度の方針は、おおむね決めているが検討中である。

Q 年度当初に支所のあり方を検討すると言われたが、支所の現状をどのように把握し、検討されたのか。

A 町長 現在8名体制で行っている。支所は旧役場であり、町民の愛着も強く頼りにされている。来年度の方針は、おおむね決めているが検討中である。

Q 体制は維持すべきである。支所と本庁との連携をスムーズに行い、本庁での窓口業務を充実するため、本庁に総合窓口を設置してはどうか。

A 町長 今後の対応とすれば必要と思う。

Q 町立病院の将来的な方針はいつ示すのか。

A 町長 指定管理者と定期的な幹事会を行い、トップ

Q 正式な検証はしていないが、医師不足だから、何らかの縮小を考えざるを得ないかも知れない。

A 町長 正式な検証はしていないが、医師不足だから、何らかの縮小を考えざるを得ないかも知れない。

Q 何かといえば医師不足を理由にされるが、この打開策が見えないと、町民からも不満が出る。今後のビジョンを示すべきだ。

A 副町長 指定管理者も、町もスタッフの確保に努力している。

Q 高年齢が進み、丁寧に対応すれば時間もかかる。最低でも現在

A 町長 現在8名体制で行っている。支所は旧役場であり、町民の愛着も強く頼りにされている。来年度の方針は、おおむね決めているが検討中である。

Q 年度当初に支所のあり方を検討すると言われたが、支所の現状をどのように把握し、検討されたのか。

A 町長 現在8名体制で行っている。支所は旧役場であり、町民の愛着も強く頼りにされている。来年度の方針は、おおむね決めているが検討中である。

Q 体制は維持すべきである。支所と本庁との連携をスムーズに行い、本庁での窓口業務を充実するため、本庁に総合窓口を設置してはどうか。

A 町長 今後の対応とすれば必要と思う。

Q 町立病院の将来的な方針はいつ示すのか。

A 町長 指定管理者と定期的な幹事会を行い、トップ

Q 正式な検証はしていないが、医師不足だから、何らかの縮小を考えざるを得ないかも知れない。

A 町長 正式な検証はしていないが、医師不足だから、何らかの縮小を考えざるを得ないかも知れない。

Q 何かといえば医師不足を理由にされるが、この打開策が見えないと、町民からも不満が出る。今後のビジョンを示すべきだ。

A 副町長 指定管理者も、町もスタッフの確保に努力している。



町立病院 看護の日

問 中学校統合方針は

片山元八郎議員



答 答申どおり2校体制で

Q 神石高原中学校配置検討委員会、井上委員長を始め、13人の委員各位の大変な労作に深く敬意を表する。中学校統合方針についての答申内容は、

A 教育長 教育委員会は、積極的に言及する立場にない。

Q 2校体制(三和中と神石・油木・豊松の3校を統合)としているが、三和中1校に統合してはどうか。

A 教育長 答申の内容を尊重し、学校の隣接地がよいと決定。旧三和小を解体撤去すれば経費がかかる。

Q 答申は、「部活動」の重要性を具体的に全

A 町長は、本年度の予算大綱で2校体制を

Q 1校体制も検討されたが、当面、同程度の教育環境にある学校が、切磋琢磨するのが望ましいと2校体制を選択した。

A 教育長 三和中1校体制ならば、寄宿舎も旧三和小に建設してはどうか。

Q 答申の内容を尊重し、学校の隣接地がよいと決定。旧三和小を解体撤去すれば経費がかかる。

A 町長は、「部活動」の重要性を具体的に全

A 町長は、本年度の予算大綱で2校体制を

Q 1校体制も検討されたが、当面、同程度の教育環境にある学校が、切磋琢磨するのが望ましいと2校体制を選択した。

A 教育長 三和中1校体制ならば、寄宿舎も旧三和小に建設してはどうか。



三和中学校

く触れていない。野球部・吹奏楽部などではある程度

Q 平成22年の出生数は三和地区34人。神石・油木・豊松の3地区合わせて34人12年後の中学校1年生は、町内全部で48人。部活動は大丈夫か。

A 教育長 答申では触れていないが、討議の過程や別に添付された内容説明では、部活動の困難性にも触れている。

Q 町長は、本年度の予算大綱で2校体制を

A 町長は、本年度の予算大綱で2校体制を

Q 1校体制も検討されたが、当面、同程度の教育環境にある学校が、切磋琢磨するのが望ましいと2校体制を選択した。

A 教育長 三和中1校体制ならば、寄宿舎も旧三和小に建設してはどうか。

Q 1校体制も検討されたが、当面、同程度の教育環境にある学校が、切磋琢磨するのが望ましいと2校体制を選択した。

A 町長 たたき台として提示した。その後、検討委員会・教育委員会で審議、決定されたものであり、今更言うことはない。

表明されたが、その時の思いは。

問 若者定住対策は

橋本輝久議員



答 現在の定住対策を継続

Q 若者定住対策として
 ①保育料の無償化
 ②中学校までの医療費の補助
 ③町外への通勤者に対して通勤手当の支給は、
町長 ①保育所運営を平成24年度に民営化したい。また保育料無償化は、今後の財政状況をみながら検討する。
 ②現在の医療費補助事業を継続する。
 ③通勤手当では非常にむずかしい。現在行っている5つの定住対策を推進する。



陰樹伐採後の町道

Q 町道の陰樹伐採、崩土除去など危険度の少ない箇所については、作業可能な団体などに委託できないか。
町長 危険が伴う作業、専門性がある作業などは、現在は業者に委託している。危険度の少ない箇所について詳細に内容検討し24年度に実施できるように取り組みたい。

Q 地域新エネルギー「バイオマスボイラ設備」・「仁吾川発電設備」導入の取り組みは進んでいるのか。
町長 22年度に策定委員会から提言されているが、

Q 仁吾川発電所は、先人たちが残してくれた貴重な財産だ。また小学校の道徳教育の教材としても取り上げている。地域の活性化につながる施設として整備を。
町長 重く受け止め取り組んでいきたい。

Q 支所機能について、おおむね方向性はできているとのことだが、24年度の体制は、
町長 現状の体制だ。

問 CATV活用の方向性は

横尾正文議員



答 さらなる調査研究が必要

Q CATVを利用した高齢者買い物支援システムや高齢者見守りシステムなどの導入は出来ないものか。
町長 このインフラ(CATV)を利用すれば質問にあるようなことも可能であろうが、課題としてお年寄りが使いこなせるか、またランニングコスト、導入後の補助の問題がある。

Q まちづくり推進課長が、導入についてはさらに調査研究をしなければならぬ。ただ医療や観光などあらゆる分野にこのインフラは利用できると思う。
町長 まちづくり推進課長が、導入についてはさらに調査研究をしなければならぬ。ただ医療や観光などあらゆる分野にこのインフラは利用できると思う。
Q I・Uターナーの加入分担金の無料化は出来ないか。
町長 定住対策で別の補助

事業がある。加入分担金に限定せずに包括的なものでやっていけば、個別にも支障が出ないし、当事者にも満足していただけたらと思う。
Q わが町は高齢者が多いため災害時には遠くまで避難することは困難であるため、現在の避難所では無理がある。したがっていくつもの安全な避難所を住民サイドから提案していただき、行政側とすり合わせ、出来るだけ安全な場所を決

め、避難訓練することが大切ではないのか。
町長 現在避難所は69箇所指定しているが、住民はこのことをあまり把握していない。地域の自主性を重んじて町と協議の上、地域の人が納得した避難所を決めたい。そして年何回か避難訓練を実施した方が、実態に即したものと思われる。



神石小学校 鼓笛隊

委員会報告

総務文教常任委員会と産業建設常任委員会合同で研修を行いました。

研修日時 平成23年11月24日～11月25日 2日間

総務文教 常任委員会

調査地

島根県邑智郡邑南町

調査目的

定住対策について

主な取り組み事業

日本一の子育て村を目指して子育てするなら邑南町です。10年後に若者定住を平成22年から平成28年に40人増、さらに5年後には100人増を目標としています。

医療

公立邑智病院 産婦人科・小児科
機能充実と24時間救急受付

保健

子ども医療費の無料(中学校卒業まで)

福祉

保育料の無料(2子目から)

就労無料職業紹介所・起業家支援

定住支援

コーデイネーター配置

教育

奨学金制度(医療・農林業)

産業建設 常任委員会

調査地

岡山県真庭市

調査目的

バイオマスタウン構想の取り組みについて

銘建工業(株)内にて調査

エコ発電施設

樹皮、かなな屑などを利用し発電する。

ペレット製造施設

樹皮・チップ・プレーナー屑など、木の成分(リグニン)が高温にな

ると溶け出す性質を利用し、造粒機で粒状にする施設

ペレットボイラー使用施設

健康増進施設として、プール・フィットネスジムなどにペレットボイラーを使用している。
灯油ボイラーと比較し50%のコスト削減になっている。

真庭市新本庁舎にて調査

バイオマスボイラー
冷暖房チップボイラー導入の新庁舎 エネルギー棟建設(2億2千万円)

太陽光発電設置

本庁舎屋根に85kwの発電用パネル設置(6700万円)

問 地震・防災・減災対策は



小川清治議員

答 ソフト事業で啓発対応

Q 地震による建築物の倒壊被害防止のため、公的建物など特定建物は、町が順次耐震診断・耐震対策を行っている。住民が、常時暮らしている住宅は、各自の責任により対策がなされている。

県の地震被害想定調査報告書では直下型地震、震度5強から6弱が起きた場合神石高原町では、死者31人、全壊643棟、半壊5958棟である。また、町内民間建物2

0361棟中新耐震基準適用は、3935棟、残り81%は既存不的確建物と思われ、減災対策が必要である。行政として、住居に対し何らかの耐震診断、耐震対策による減災施策が必要であると思われる。

A 町長 県内では耐震診断の補助制度を実施している市町もあるが、耐震補強

とセットでないと町民の危機感をおおる。国策で取り組みないと単町費での対応はむずかしい。

A 町長 本町でもソフト事業で防災・減災を啓発する。

Q 最大のポイントは地震などの災害により、自宅で死なない・けがをしない事だ。まずは、ソフト事業での対応が望まれると思うが。



東日本大震災の被害状況

追跡 ありやあどうなった？

今はどうなっているか？追跡しました

人に助けられた犬が人を救う！



シルトピア油木で「ふれあい・交流」を楽しむカズ（1歳4カ月）と訓練士の藤崎さん（右側）



元気いっぱい訓練に励むカズ（アンズ）1歳4カ月

平成23年4月、仙養ヶ原にオープンしたドッグランは、休日には40〜60匹の犬でにぎわい大好評です。「NPO法人」ピースウインズジャパンが運営する「災害救助犬訓練センター」では、動物愛護センターから殺処分予定などの子犬4匹を譲り受け、災害救助犬やセラピードッグとして訓練しています。

震えていた子犬たちも訓練士たちの愛情に育まれ、たくましく成長。「災害救助犬訓練センター」の活躍が期待されます。

◇セラピードッグとは
ふれ合いを通して癒しや楽しみを提供し、人の心のケアに役立つ犬。

ドッグラン仙養

「災害救助犬訓練センター」

タイガーマスクは

誰でしょう？



タイガーマスクからのプレゼント！

油木保育所の園児は行儀よく待っていました。タイガーマスクが入場すると一瞬表情がこわばり緊張する園児、泣き出す子も。歌を披露し、子どもたちに語りかけるころには笑顔があふれ、プレゼントを渡すとタイガーマスクは園児たちに取り囲まれ、大歓声の渦の中に。

「子どもは町の宝、子どもたちを喜ばせてあげたい」と油木の伊達直人こと、逸見博志さん（シルバー人材センター理事長）は語っていました。

クイズの解答とともに寄せられた

“まちの声”

ローソン神石高原店の入り口階段が身障者には非常に不便。182ステーションの側からは遠いスロープや手すりがあればよいのではないか。

(59歳・女性)

毎年敬老会が行われ老人の方喜んでおられます。最近はお出席者のみ名簿がいただける様で欠席者には無いとの声を聞いてます。理由あり出席出来ない方から「何も頂けなくてもいいから、名簿は是非頂きたい。以前はあれが見れるのが楽しみだったのに」といわれる方の声を多く聞きます。希望者のみだけでもあれば喜ばれると思います。

(61歳・女性)

「みんなの議会」を楽しみにしています。明るい町づくりの為、議員さんの活躍して下さる事を心よりお願い申し上げます。

(73歳・女性)

いろいろなことがありすぎた今年も残り2ヶ月となりました。小さな村神石高原からも日本中いや世界中に楽しいニュースが発信されるハッピーなことがありますように来年こそは。

(55歳・女性)

町内でも一番の位置過疎も一番。空家が多くなりつつあるが、空いている神石の泉寮および統合後の神中についての議会の考えは。

(85歳・男性)

(原文のまま掲載しています。)

油木高校産業ビジネス科

おめでとう！最優秀賞受賞

広島県学校農業クラブ連盟大会プロジェクト発表会

○「食料・生産」部門 ナマズで地域おこし

産業ビジネス科3年 赤木春香 岩畔昌史 赤木勝博 前原拓弥

○「環境」部門 神石高原町の景観再生〜耕作放棄地を利用した山菜、宿根生野菜の栽培〜

産業ビジネス科3年 中岡拓馬 渡邊直樹 横山翔平 松岡佳春

○「文化・生活」部門 花咲く神石高原町「ミツバチ」から広がる交流・地域の活性化

産業ビジネス科3年 長田健大 矢田貝貴之 西屋 雷 中原悠希 田邊晴由

(地域の抱える問題に対し、課題研究を通して様々な角度からアプローチをし、課題解決に向け取組を行っているとの評価があり、**2年連続3部門独占で受賞しました。**)

議会クイズ 正解・当選者

第11回

- ① 黒字
- ② 5億
- ③ 神石
- ④ 高原
- ⑤ 宮尾

ご応募頂きありがとうございました。正解者多数により抽選の結果、次の方々が当選され、1000円分のやまなみ商品券をお贈りしました。

第11回クイズ当選者

- 三和地区 馬屋原美恵子さん 神石地区 横山 寿恵さん
- 神石地区 岡田 允さん 神石地区 伊勢村奈津枝さん
- 豊松地区 石崎晴江さん (順不同)

元気なグループ紹介

ええのお広石

高蓋自治振興会



そば脱穀交流会



キノコ鑑定研究会

私達広石班は、平成17年に「ええのお広石」を立ち上げました。「ええのお」とは、この地方では「いいなあー」という意味の方言で、みんなからうらやましがられる地域にしようという意味を込めて名付けました。広石の地を離れた方々にも声をかけ、「何んも無いところに何でもあった！」をスローガンに、広石の自然や交流をテーマにした3つの事業を行っています。

①「広石の景観保存事業」では、桜の苗木移植や広石のシンボルとしての水車小屋「コットン広心館」設置。

②「広石の自然保護事業」では、広石大池のジュンサイ保存栽培、竹炭窯の建設とその生成炭を利用した川の水の浄化など。

③「広石ふれあい事業」では、ソバの栽培と花見の会さらに新年会における収穫祭の実施・大豆の栽培とそれを利用した味噌造りなどのコミュニティ活動など。

今後もこの事業を推進しながら、広石のみんなが、笑顔で集えるような地域づくりを行っていききたいと思っています。

第12回 議会クイズ

《クイズ》

空欄に適切な言葉を入れてください。

- ①議会○○推進特別委員会を設置
- ②第○○回神石高原町の医療考える集いを開催
- ③一般質問 ○○○ブランドで全国制覇を
- ④一般質問 地震・○○・減災対策は。
- ⑤元気なグループ紹介 ええのお○○

《ヒント》

議会広報を良く読めば解ります。

《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」を記入してください。

議会への要望・ご意見なども書いてください。「まちの声」で、出来るだけ紹介いたします。

正解者多数の場合は抽選で5名の方に1000円分のやまなみ商品券をお送りいたします。

応募はお1人・1通に限定させていただきます。

《あて先》

〒720-11522 神石高原町小島二〇二五

神石高原町議会事務局

「第12回議会クイズ係宛」

《締め切り》

2月10日(金) 消印有効

《個人情報取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および「まちの声」などの目的以外には利用いたしません。

編集後記

昨年、突然大震災と原発事故が東日本を襲いました。民主党政権の対応は後手後手に回り、説明不足と情報の小出し、継続性のない政策発表は国民に政治不信を抱かせ、将来の日本の姿が見えないまま新年を迎えました。

大阪市長選挙での橋下氏の圧勝は何を意味するのか。

地方の時代の到来です。

二元代表制の一翼を担う地方議会は、住民の負託に、より応え得る議会として、より気持ち新たに改革に取り組まねばなりません。

議会広報もより分かり易い編集に努めます。

この一年ご愛読をよろしくお願ひ致します。

(木)

議会広報広聴調査特別委員会

- 委員長 寄定 秀幸
- 副委員長 小川 清治
- 木野山 孝志
- 橋本 輝久
- 横尾 正文

住所／広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

TEL 0847-8913340
FAX 0847-8514201